



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			7月9日	7月10日	7月11日	7月12日	7月13日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.8730	3.8140	3.8760	3.8820	3.8500	-0.0320
	BRL/JPY	Spot	28.61	29.09	28.90	28.98	29.18	+0.20
	EUR/USD	Spot	1.1752	1.1736	1.1674	1.1671	1.1686	+0.0015
	USD/JPY	Spot	110.85	110.97	112.03	112.51	112.36	-0.15
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	休場	6.844	6.876	6.920	6.742	-0.178
	Future	1Year(p.a.)	休場	7.611	7.653	7.721	7.660	-0.061
	On-shore	6MTH(p.a.)	休場	3.728	3.587	3.609	3.524	-0.084
	USD	1Year(p.a.)	休場	4.323	4.196	4.224	4.173	-0.051
株式	Bovespa指数		休場	74,862.38	74,398.56	75,856.25	76,594.38	+738.13
CDS	CDS Brazil 5y		248.60	243.43	252.95	249.19	243.78	-5.41
商品	CRB指数		198.234	198.293	192.833	194.003	193.728	-0.275

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3.79台へ上昇後、米中貿易摩擦や国内の財政問題を受けて3.89台まで下落。
- 週初のレアルは3.8630で寄り付いた。9日(月)はサンパウロ州が祝日だったことから値動きは乏しかったが、翌10日は大口の資金流入と思いきフロアが見られたことで週間高値3.7950まで上昇した。その後、米中貿易摩擦に対する警戒感が再び高まる中でリスクオフムードからレアルは上げ幅を縮小。国内の政府財政問題を巡る報道もレアル売り材料となり、週間安値3.8990を付けた。週末にかけては弱い米経済指標を受けたドル売りからレアルは買い戻され、結局3.8500で越週。
- 前週末の8日、伯控訴裁判所の判事が収賄罪で禁錮12年の有罪判決を受けて収監中のルラ元大統領の釈放を命じた。しかし、別の判事がこの命令を阻止したことで数時間後には再び同氏の収監を継続することが決定。週明けの相場への影響は限定的に留まった。
- 9日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が1.55%から1.53%へ下方修正され、2019年は2.50%で据え置かれた。インフレ率予想は2018年が4.03%から4.17%へ上方修正され、2019年は4.10%で据え置き。年末の為替レートは2018年が3.70、2019年は3.60でそれぞれ据え置かれた。
- 12日発表された5月の伯小売売上高は前月比▲0.6%(予想▲0.8%)と前回の+1.0%より大幅に下落。13日に発表された5月のIBGEサービス部門売上高についても前年比▲3.8%(予想▲4.2%)と前回の+2.2%を大きく下回った。ともに5月に実施されたトラック運転手によるストライキの影響を受ける結果となった。
- 今週、レアル相場は3.9台に迫る場面があったものの、伯中銀は既存ポジションのロールオーバーである1日当たり7億ドル以上に追加のドル売りスワップ入札を実施しなかった。当局は3週連続で追加のドル売り介入を行っていない。

3. 今週のチャート&ハイライト



伯議会の動きを受けて財政問題への注目が集まる

今週、下院議会在10月の選挙での支持拡大を狙い、特定の業種に対する税制優遇や歳出拡大に繋がる法案の可決を目指していると地元紙が報じた。財政への影響は今後数年で約1,000億レアルに達する可能性があるとしており、本件を受けてガルジア財務相は新たな政策を通して財政を均衡させる必要性を強調。大統領選挙を前に財政への影響を与えるような重要な法案提出が相次いでおり、新たなレアル売り材料として懸念されている。8月末に来年の予算確定の期限が迫る中、伯政府の財政問題を巡る動きに引き続き注目したい。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行にその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.80－4.00

来週のレアルは軟調推移を予想する。財政赤字を拡大させ得る法案審議に加えて、引き続き米中貿易摩擦問題への警戒感によるリスクオフムードからレアルは軟調な動きが見込まれる。
尚、18日にはパウエル議長が議会証言で発言をする予定。足元の米経済及び今後の金融政策に対する発言に注目が集まる。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IBGEサービス部門売上高 前年比	-4.1%	-3.8%	2.2%
米	輸入物価指数(前月比)	0.1%	-0.4%	0.6%
米	シカゴ大学消費者マインド	98.0	97.1	98.2

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	7/16	FGV CPI IPC-S	Jul/15	--	1.01%
ブラジル	7/16	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Jul	0.80%	1.86%
米	7/16	ニューヨーク連銀製造業景気指数	Jul	21.0	25.0
米	7/16	小売売上高速報(前月比)	Jun	0.4%	0.8%
ブラジル	7/16	貿易収支(週次)	jul/15	--	\$1034m
米	7/17	鉱工業生産(前月比)	Jun	0.5%	-0.1%
ブラジル	7/18	FIPE CPI-週次	Jul/15	0.35%	0.63%
米	7/18	MBA住宅ローン申請指数	Jul/13	--	2.5%
米	7/18	住宅着工件数	Jun	1320k	1350k
米	7/18	建設許可件数	Jun	1330k	1301k
米	7/19	新規失業保険申請件数	jun/07	221k	214k
米	7/19	失業保険継続受給者数	Jun/30	1725k	1739k
米	7/19	先行指数	Jul/14	0.5%	0.2%
ブラジル	7/20	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Jul/7	0.74%	1.11%
ブラジル	7/20	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Jul	4.63%	3.68%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。